



# 新年のごあいさつ

コープみらい理事長  
新井 ちとせ



組合員の皆さまには、日頃よりご利用、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

この間の国際情勢や経済状況に伴う原材料・原油などの価格高騰により、多くの商品が値上げとなり、くらしは一層厳しさを増しています。コープみらいでは宅配・店舗でのセールなど、努力をしてみました。一部商品では値上げせざるを得ない状況です。組合員の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、私たちの強みである「商品とコミュニケーション力」を駆使し、全国の生協とも連携して、今後もくらし応援に取り組んでまいります。

コープみらいは助け合いの組織として、SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けてさまざまな取り組みを進めています。

「未来へつなごう」をスローガンに進めている取り組みの一つが「お米の寄贈」です。昨年度多くのご利用をいただいたことによる剰余金（利益）を社会に還元するため、1年間を通して約200トンのお米を、地域のフードバンクなど48団体に寄贈しています。コロナ禍で困難を強いられる方々を支援し、お米の消費が減り厳しい状況に置かれている国内の生産者の応援にもつなげる取り組みです。

二つ目が「子ども・子育て支

援基金」です。組合員の皆さまから書き損じはがきや未使用切手などを専用封筒で寄贈していただき、換金で得られた資金を活用して、国内外で飢餓・貧困・格差などに苦しむ子どもへの支援に取り組む団体を、資金面で応援するものです。皆さまから3万8000通もの善意が寄せられ、2400万円の寄付につながりました。また、取り組みに対するあたたかい応援メッセージも同封されてきました。

こうした心と心のつながりの輪が広がることを、これからも大切にしていきたいと思えます。気候変動や感染症対策、貧困と格差の拡大など、先送りでき

ない課題が国内外に山積してきます。平和とは、ふだんのくらし、当たり前をくらしを守ること。各々が平和への関心と意思を持ち、声にすることが最大の抑止力、平和への一番の近道です。2023年はコープみらい10周年。これからも組合員の皆さまからの「声」を大切に、事業と活動を通じて皆さまのくらしに貢献してまいります。

本年もどうぞよろしく  
お願いいたします。

